

餞のことば

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

4月から、それぞれの中学校生活がスタートしますね。今から中学校に入ったら「友達と同じクラスになれるかな」「部活ってどんな感じだろう」「勉強は、大変かな」など、期待と不安が入り混じっている事でしょう。しかし実際入学したら、思っていたとは違う面を感じ、戸惑うこともあると思います。でもそんな時、学校、児童センターで仲間と共に過ごした楽しかった時間を思い出してください。きっと前に進むエネルギーをもらえると思います。

最後に、新しい未来に向かって羽ばたいていく皆さんの活躍を応援しています。そして、児童センターで過ごした事を懐かしく思い出したら、遊びに来てくださいね。

（文責：大原児童センター職員一同）

大原小学校

～パリオリンピックに向けた取り組み～

品川区では、学校2020レガシーの教育として各学校・幼稚園の特色を生かし、家庭や地域社会等との連携を図りながら、大会以降も持続可能な教育活動となるよう、「学校2020レガシー」を推進しております。大原小学校でも様々な取り組みを行っております。

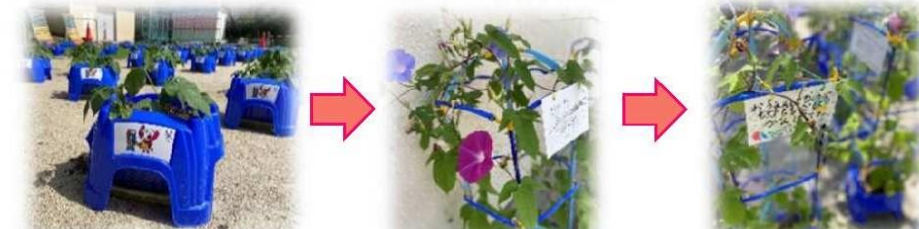
★フラインドサッカー体験

ブラインドサッカーの寺西一選手が大原小学校へ来てくださりました。子どもたちはアイマスクをつけてブラインドサッカーに挑戦しました。



★あさがおの種を育てて送る

パリオリンピック現地での日本代表選手のブースや花道を、あさがおの花で飾って選手を応援するために種を育てました。育ったあさがおは、メッセージを添えて現地へ送られました。



★校内の掲示物

学校内の廊下や階段などはパリオリンピックの素敵な掲示物で彩られています。



高齢者活動紹介

～吊るし飾りの会～

吊るし飾りとは、日本の伝統工芸の一種で動物や花、野菜など布で作り紐で吊るし、吊るし雛人形とともに飾ったものです。兎は神様の使い、春を告げる椿は神宿る木などの意味を持ち、先人が衣・食・住に困らないようにと願いを込めて作った飾り物だとされています。

平成25年に発足のこちらの会は、数人の出入りがありましたが、現在は13名で月1回の第三水曜日に荏原第四地域センターに集い、活動しています。各々が作りたいものを作ってお披露目し、情報交換して分からないところがあれば教え合うという形の基本、「吊るし本」が先生となっています。

平成27年に1回目、平成29年に2回目、平成31年に3回目と、2年に1回の作品展を行ってきました。それ以降は新型コロナウイルス感染拡大により中止となっていましたが、4年ぶりとなる令和5年の6月に、11名の出展者で作品展を開催することができました。関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

（文責：井熊 公子）



上神明小学校PTA

～餅つき大会の様子～

上神明小学校PTA恒例行事の餅つき大会。「よいしょっ！」と子どもたちの元気な声が体育館に響きました。一人10回ずつお餅をついて、交代です。高学年はさすがです。腰を入れて力強くついていました。ついた後は、今年初企画の「コネコネTIME」。うるち米ともち米をそれぞれラップに包み、触って、こねて、食べ比べました。子どもたちは、うるち米ともち米の違いを楽しんで学ぶことができました。その後は、つくたてのお餅をきな粉と磯辺の味付けで食べました。「美味しい！」と10個近く食べる子もいて大人たちはびっくり。子どもたちと先生、保護者、地域の方が一緒になってできたお餅つき、心もお腹もいっぱいになりました。

（文責：上神明小学校PTA会長 石澤）



川柳

☆当たる

いい日だね 割った卵に 黄身二つ（健）
今度こそ 当たると思う 宝くじ（悦）
陽の当たる 道だけ歩く 風見鶏（邦）

☆検査

あす検査 酒やめ野菜 ばかり食べ（水）
空港の 荷物検査は どきどきと（美）
検査無料 釣られて工事 まで任せ（公）